

施策の成果及び執行実績

介護保険特別会計

(1) 被保険者数及び要介護認定者数の状況

第1号被保険者数については、平成25年3月末は平成24年3月末と比較して419人の増加となった。要介護(要支援)認定者数については、平成25年3月末で3,243人で平成24年3月末と比較して155人の増加となっている。要介護認定率は年々高くなってきており、平成25年3月末は17.7%となっている。

・第1号被保険者数 (単位：人)

	平成24年3月末	平成25年3月末	比較増減
65歳以上75歳未満	8,183	8,367	184
75歳以上	9,759	9,994	235
合計	17,942	18,361	419

・要介護(要支援)認定者数(平成25年3月末) (単位：人)

予防給付	要支援1	要支援2	計			
第1号被保険者数	130	315	445			
第2号被保険者数	3	11	14			
合計	133	326	459			
介護給付	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者数	587	747	556	484	323	2,697
第2号被保険者数	21	29	17	10	10	87
合計	608	776	573	494	333	2,784

・被保険者数、認定者の推移 (単位：人)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
被保険者数	17,644	17,846	17,724	17,942	18,361
認定者数	2,662	2,768	2,952	3,088	3,243
認定率(%)	15.09	15.51	16.66	17.21	17.66

(2) 介護保険料

介護保険料の決め方

第1号被保険者の保険料は、保険給付に係る費用(サービス費から自己負担分を除く)と地域支援事業費の21%を賄うこととなる。このため、市町村が事業運営期間である3年間(平成24年度～26年度「第5期」)に必要な介護保険事業の給付費見込額と地域支援事業費見込額の総額から、第1号被保険者の保険料として収納すべき総額(保険料収納必要額)を計算し、所得段階を加味した第1号被保険者数に基づき算出している。

第5期の志摩市の介護保険料基準月額は、5,370円となっており、低所得者の負担軽減を図るため、保険料段階は8段階としている。

施策の成果及び執行実績

・段階別介護保険料 (平成24年度～平成26年度)

保険料段階		対象者	保険料額(円)
第1段階		・生活保護の受給者 ・老齢福祉年金の受給者で、世帯全員が市民税非課税者	月額 2,680円 年額 32,160円 (基準額×0.5)
第2段階		世帯全員が市民税非課税で公的年金等収入金額+合計所得金額が80万円以下の者	
第3段階		世帯全員が市民税非課税で第1、第2段階以外の者	月額 4,020円 年額 48,240円 (基準額×0.75)
第4段階	軽減あり	本人が市民税非課税(世帯に市民税課税者あり)で公的年金等収入金額+合計所得金額が80万円以下の者	月額 4,560円 年額 54,720円 (基準額×0.85)
	軽減なし	本人が市民税非課税(世帯に市民税課税者あり)で公的年金等収入金額+合計所得金額が80万円を超える者	月額 5,370円 年額 64,440円 (基準額)
第5段階		本人が市民税課税で合計所得金額125万円未満の者	月額 6,180円 年額 74,160円 (基準額×1.15)
第6段階		本人が市民税課税で合計所得金額125万円以上190万円未満の者	月額 6,720円 年額 80,640円 (基準額×1.25)
第7段階		本人が市民税課税で合計所得金額190万円以上500万円未満の者	月額 8,060円 年額 96,720円 (基準額×1.5)
第8段階		本人が市民税課税で合計所得金額500万円以上の者	月額 9,400円 年額 112,800円 (基準額×1.75)

保険料月額10円未満の端数については、第4段階以下は切り捨て、第5段階以上は切り上げています。

・所得段階別第1号被保険者数

(単位:人)

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	
				軽減あり	軽減なし
賦課期日(平成24年4月1日)	268	3,557	3,300	2,889	2,823
平成25年3月31日現在	276	3,494	3,228	3,010	2,791
	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	計
	2,651	1,279	1,030	143	17,940
	2,877	1,381	1,132	172	18,361

施策の成果及び執行実績

保険料の納付方法と納期

特別徴収

老齢(退職)年金、遺族年金、障害年金を年額18万円以上受給している人を対象に、年金から天引き徴収する。納期は、仮徴収が4月、6月、8月で、本徴収が10月、12月、2月となっている。

普通徴収

老齢(退職)年金、遺族年金、障害年金の受給額が年額18万円未満の人や年度途中で65歳を迎えた人などは特別徴収の対象とならないため、納付書等による徴収となる。納期は、仮徴収が4月、6月で、本徴収が8月、10月、12月、2月となっている。

平成24年度の保険料収納状況(第1号被保険者)

現年度分の特別徴収の収納率は100%であるが、普通徴収の収納率は86.18%となっており、13,540,938円の収納未済が生じている。また、滞納繰越分の収納率については25.67%、7,965,502円の収納未済である。

滞納繰越分のうち、4,659,939円については介護保険法第200条による消滅時効の成立、地方税法第15条の7による滞納処分の停止の要件等により不納欠損処理を行っている。

・保険料収納状況(平成24年度)

内 訳	調定額(円)	収納額(円)	不納欠損額	収納未済額	収納率	
			(円)	(円)	(%)	
現年度分	特別徴収	958,838,450	958,838,450	0	0	100
	普通徴収	98,012,290	84,471,352	0	13,540,938	86.18
計	1,056,850,740	1,043,309,802	0	13,540,938	98.72	
滞納繰越分	16,985,034	4,359,593	4,659,939	7,965,502	25.67	
合 計	1,073,835,774	1,047,669,395	4,659,939	21,506,440	97.56	

(3) 保険給付費

平成24年度末の居宅介護(予防)サービス受給者数は、2,009人(予防232人、介護1,777人)で、前年度末と比較して151人の増、地域密着型(介護予防)サービス受給者は201人となっており、前年度末と比較して11人の増となっている。

施設介護サービス受給者数は555人で、前年度末と比較して45人の増となっており、全体のサービス受給者数は2,765人で前年度より207人の増となっている。

また、平成24年度の保険給付費の支払いは5,223,764,725円となっており、平成23年度と比べ341,263,849円の増額となり、対前年度比率は7%の伸びとなっている。平成24年度の介護保険特別会計総支出額に対する保険給付費の占める割合は、約92.74%となっている。

施策の成果及び執行実績

・保険給付の状況

(単位 円)

区 分	24年度決算額	23年度決算額	比較増減
1. 介護サービス等諸費	4,730,644,950	4,432,629,794	298,015,156
1. 居宅介護サービス給付費負担金	2,323,234,744	2,161,532,047	161,702,697
2. 特例居宅介護サービス給付費負担金	82,534,104	75,317,652	7,216,452
3. 地域密着型介護サービス給付費負担金	424,757,961	405,051,957	19,706,004
4. 特例地域密着型介護サービス給付費負担金	0	0	0
5. 施設介護サービス給付費負担金	1,595,559,744	1,493,800,624	101,759,120
6. 特例施設介護サービス給付費負担金	0	0	0
7. 居宅介護福祉用具購入費	6,437,929	7,274,302	836,373
8. 居宅介護住宅改修費	21,004,907	18,971,367	2,033,540
9. 居宅介護サービス計画給付費	277,115,561	270,681,845	6,433,716
10. 特例居宅介護サービス計画給付費	0	0	0
2. 介護予防サービス等諸費	114,202,604	101,731,062	12,471,542
1. 介護予防サービス給付費負担金	86,886,361	75,693,230	11,193,131
2. 特例介護予防サービス給付費負担金	247,806	0	247,806
3. 地域密着型介護予防サービス給付費負担金	9,373,167	8,789,202	583,965
4. 特例地域密着型介護予防サービス給付費負担金	0	0	0
5. 介護予防福祉用具購入費	1,045,249	1,061,342	16,093
6. 介護予防住宅改修費	5,458,101	6,732,648	1,274,547
7. 介護予防サービス計画給付費	11,191,920	9,454,640	1,737,280
8. 特例介護予防サービス計画給付費	0	0	0
3. その他諸費	2,275,560	6,130,285	3,854,725
1. 審査支払手数料	2,275,560	6,130,285	3,854,725
4. 高額介護サービス等費	103,035,763	94,766,057	8,269,706
1. 高額介護サービス費	102,985,682	94,722,295	8,263,387
2. 高額介護予防サービス費	50,081	43,762	6,319
5. 高額医療合算介護サービス等費	11,643,423	8,420,408	3,223,015
1. 高額医療合算介護サービス等費	11,626,838	8,375,399	3,251,439
2. 高額医療合算介護予防サービス等費	16,585	45,009	28,424
6. 特定入所者介護サービス等費	261,962,425	238,823,270	23,139,155
1. 特定入所者介護サービス等費	255,490,885	233,380,220	22,110,665
2. 特例特定入所者介護サービス等費	6,383,250	5,398,530	984,720
3. 特定入所者介護予防サービス等費	69,150	44,520	24,630
4. 特例特定入所者介護予防サービス等費	19,140	0	19,140
計	5,223,764,725	4,882,500,876	341,263,849

介護保険特別会計

施策の成果及び執行実績

・居宅介護(介護予防)サービス受給者数(平成24年度末) (単位：人)

予 防 給 付	要支援1	要支援2	計			
第1号被保険者数	56	169	225			
第2号被保険者数	0	7	7			
合 計	56	176	232			
介 護 給 付	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者数	387	571	352	260	155	1,725
第2号被保険者数	13	22	6	5	6	52
合 計	400	593	358	265	161	1,777

・地域密着型(介護予防)サービス受給者数(平成24年度末) (単位：人)

予 防 給 付	要支援1	要支援2	計			
第1号被保険者数	2	8	10			
第2号被保険者数	0	0	0			
合 計	2	8	10			
介 護 給 付	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者数	35	60	45	38	12	190
第2号被保険者数	0	0	1	0	0	1
合 計	35	60	46	38	12	191

・施設介護サービス受給者数(平成24年度末) (単位：人)

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合 計
第1号被保険者数	333	206	8	547
第2号被保険者数	2	6	0	8
合 計	335	212	8	555

・保険給付費支出額の推移 (単位：円)

	22年度	23年度	24年度
介護サービス費	4,180,249,027	4,432,629,794	4,730,644,950
予防(支援)サービス費	94,559,482	101,731,062	114,202,604
審査支払手数料	5,821,310	6,130,285	2,275,560
高額介護サービス費	87,788,391	94,766,057	103,035,763
高額医療合算介護サービス費	11,581,563	8,420,408	11,643,423
特定入所者介護サービス費	214,977,500	238,823,270	261,962,425
合 計	4,594,977,273	4,882,500,876	5,223,764,725
対前年度比	1.095	1.063	1.070

施策の成果及び執行実績

(4) 地域支援事業費

介護予防事業費

1) 二次予防事業費

- ・二次予防事業対象者把握事業

平成24年4月、要支援・要介護認定者を除く65歳以上の人全員に基本チェックリストを郵送し、二次予防事業対象者の抽出を行った。

事業費：7,258,318円

指 標	人数(人)	率(%)
対象者数	15,076	
基本チェックリスト配付人数	14,929	
基本チェックリスト実施(回収)数	11,508	回収率 77.1
二次予防事業対象者数	3,910	
介護予防検査受診券発行者数	77	
介護予防検査受診者数	51	受診率 66.2

- ・通所型介護予防事業

11月に二次予防対象者に教室の案内を送付。参加希望者に介護予防検査受診券を送付（受診できない方にはチェックシートで聞き取り）し、その結果により二次予防対象者を決定のうえ、通所型介護予防事業を実施した。

生活機能改善のため複合プログラム（運動器の機能向上・口腔機能向上・低栄養改善）をコース別に実施した。

3回コース：実人数13人・延べ32人参加

6回コースA：実人数23人・延べ111人参加

6回コースB：実人数18人・延べ91人参加

通所型介護予防事業業務委託

契約相手方：（福）洗心福社会 706,000円

2) 一次予防事業費

定期健康相談

- ・浜島地区：7回実施 延べ71人参加
- ・大王地区：18回実施 延べ136人参加
- ・志摩地区：26回実施 延べ183人参加
- ・阿児地区：30回実施 延べ206人参加
- ・磯部地区：38回実施 延べ159人参加
- ・計 119回実施 延べ755人参加

施策の成果及び執行実績

介護予防普及事業

和具・片田・越賀の老人会で健脚運動を実施。

- ・健脚運動(ヘルスフレンズ) ... 44回、延べ1,349人参加

高齢期の運動指導者養成講座(健脚運動の推進)修了40人

身近な地域で高齢者を対象に積極的・継続的に運動機能向上を推進するために、お達者サポーターを対象に運動指導者養成講座を開催した。

50人参加のうち、修了40人(後日補講実施)

	実施月日	内 容	講 師	参加人数
第1回	8月18日	講義：運動生理学について	女子美術大学 澤井史穂教授	34人
第2回	8月19日	講義：運動指導について 実技：健脚運動	女子美術大学 澤井史穂教授	42人
第3回	8月24日	実技：健脚運動(体力測定と評価)	三重大学磯和勅子教授	48人
第4回	8月30日	講義・実技：運動と障害について	日本赤十字社 三重県 支部 富内直美看護師	42人
		実技：健脚運動(地区での指導方法)	三重大学磯和勅子教授	
第5回	8～9月	体験学習：地区の健脚運動に参加		41人
第6回	9月21日	実技：健脚運動(指導方法の確認) 修了式	三重大学 磯和勅子教授	36人

健康教育

希望のあった老人クラブやいきいきサロンに出向き、介護予防の必要性について意識の普及啓発を行った。

<テーマ：運動機能向上について> 16地区 参加人数 581人

	実施月日	対象	参加人数
1	7月4日	渡鹿野老人クラブ	13人
2	7月16日	神明老人クラブ	101人
3	7月19日	五知老人クラブ	21人
4	7月26日	上之郷老人クラブ	25人
5	7月28日	畔名老人クラブ	10人
6	9月10日	越賀老人クラブ	24人
7	10月1日	沓掛老人クラブ	6人
8	10月10日	飯浜老人クラブ	18人
9	10月15日	安乗老人クラブ	18人
10	10月22日	恵利原老人クラブ	26人
11	10月24日	的矢老人クラブ	18人
12	11月2日	川辺老人クラブ	12人

施策の成果及び執行実績

	実施月日	対象	参加人数
13	11月5日	築地老人クラブ	14人
14	11月11日	穴川老人クラブ	38人
15	2月1日	立神老友会	37人
16	12月1日	いきがいクラブ(志摩町)	200人

<テーマ：口腔機能向上について> 8地区 参加人数227人

	実施月日	対象	参加者人数
1	4月26日	はまゆう大学	40人
2	6月11日	越賀老人クラブ	15人
3	6月21日	五知老人クラブ	21人
4	7月11日	山田老人クラブ	17人
5	8月1日	安乗長寿会	20人
6	8月2日	川辺老人クラブ	8人
7	8月8日	渡鹿野老人クラブ	16人
8	10月15日	神明長寿会	90人

<テーマ：低栄養予防について> 11地区 参加人数323人

	実施月日	対象	参加人数
1	6月15日	安乗老友会	22人
2	6月21日	五知老人クラブ	21人
3	7月23日	名田老人クラブ	13人
4	8月1日	志島寿会	54人
5	9月5日	渡鹿野老人クラブ	17人
6	9月6日	下之郷老人クラブ	30人
7	9月11日	山田老人クラブ	18人
8	10月3日	的矢茶屋	14人
9	11月1日	立神老友会	26人
10	11月15日	神明長寿会	89人
11	1月24日	上之郷老人クラブ	19人

<テーマ：認知症予防について> 14地区 参加人数466人

	実施月日	対象	参加人数
1	6月10日	波切老人クラブ	37人
2	6月15日	鷓方老人クラブ	90人
3	6月15日	片田老人クラブ	45人
4	7月1日	志島寿会	50人
5	7月8日	成基東老人クラブ	34人
6	7月10日	迫間第一老人クラブ	17人
7	7月19日	五知老人クラブ	21人

施策の成果及び執行実績

	実施月日	対象	参加人数
8	9月7日	名田老人クラブ	9人
9	9月27日	川辺老人クラブ	12人
10	10月13日	畔名老人クラブ	10人
11	10月17日	渡鹿野老人クラブ	15人
12	11月9日	山田老人クラブ	16人
13	12月18日	神明長寿会	93人
14	1月21日	越賀老人クラブ	17人

<テーマ：うつ・閉じこもり予防について> 8地区 参加人数241人

	実施月日	対象	参加人数
1	6月10日	波切老人クラブ	37人
2	7月19日	五知老人クラブ	21人
3	9月1日	志島寿会	55人
4	10月11日	名田老人クラブ	13人
5	11月10日	迫間老人クラブ	14人
6	2月8日	沓掛老人クラブ	7人
7	2月12日	山田老人クラブ	16人
8	2月15日	神明長寿会	78人

<テーマ：介護予防全般について> 1地区 参加人数67人

	実施月日	対象	参加人数
1	4月25日	船越老人クラブ	67人

介護予防講演会

	実施月日	参加人数	講師	テーマ
1	1月30日	239人	三遊亭白鳥氏 宮本英治氏	カラダとココロの健康があってこそいきいき楽しい人生

運動機能向上教室

- ・ 介護予防教室等事業業務委託

契約相手方：（医）豊和会 介護老人保健施設 志摩豊和苑 300,000円

上之郷地区、波切地区にてそれぞれ5回、運動を実施。

延べ111人参加

延べ99人参加

	実施月日	参加人数	地区
1	10月19日	25人	上之郷
2	10月26日	21人	
3	11月16日	22人	
4	11月30日	22人	
5	12月14日	21人	

	実施月日	参加人数	地区
1	1月18日	31人	波切
2	2月1日	19人	
3	2月15日	18人	
4	3月1日	17人	
5	3月15日	14人	

施策の成果及び執行実績

お達者サポーター養成講座

お達者サポーターの今後の活動推進にあたり、サポーターを増強し、介護予防活動をより多くの地区に普及させるために、養成講座を開催した。

実47人参加、修了47人(後日補講実施)

	実施月日	内 容	講 師	参加人数
第1回	1月25日	講義：介護予防とは	介護老人保健施設 志摩の里 田畑好基施設長	47人
第2回	1月31日	講義：高齢期の口腔機能について	山本歯科医院 山本修歯科医師	46人
第3回	2月14日	講義：高齢期の運動機能・栄養について	谷岡医院 谷岡穰医師	46人
第4回	2月28日	講義：認知症・うつ病等について	県立志摩病院 松山明道医師	45人
第5回	2～3月	体験学習：介護予防教室・いきいきサロンに参加		47人
第6回	3月15日	座談会：サポーターの活動について 修了式		43人

お達者サポーター活動支援

身近な地域で介護予防事業の推進を図り、地域で継続した介護予防の取り組みにつなげるための支援を行った。(H19、20、21、23年度養成講座修了者136人の活動を支援)

- ・連絡会 1回(6月7日)、45人参加
- ・地区別連絡会 13回、延べ116人参加

{	浜島地区 1回 4人、大王地区 1回 5人、阿児地区 1回 6人
	志摩地区 7回 延べ43人、磯部地区 3回 延べ58人
- ・ステップアップ研修 2回、延べ76人参加
 - 「介護予防レクリエーション」講師：三重県レクリエーション協会 加納安子氏
 - 第1回：11月22日 参加人数42人、第2回：1月22日 参加人数34人
- ・活動報告会 1回(11月28日)、54人参加(自治会23人、お達者サポーター31人)
 - 「介護予防のための運動と地域づくり」講師：皇學館大学 小木曾一之教授
- ・スクエアステップ(ヘルスフレンズ) ... 21回、延べ179人参加

地域介護予防活動活性化事業

地域の介護予防活動の推進を図るために、介護予防事業の実施や継続について自治会に委託した。

地域介護予防活動活性化事業業務委託

契約相手方：穴川・的矢・和具自治会 各50,000円

延べ304人参加

施策の成果及び執行実績

地区	実施月日	内 容	参加人数
穴川	2月20日	事業説明会	53人
	3月10日	健脚運動	74人
	3月20日	体力測定、健脚運動	71人
的矢	2月25日	事業説明会	19人
	3月11日	健脚運動	22人
	3月26日	体力測定、健脚運動	21人
和具	3月18日	事業説明会	22人
	3月18日	健脚運動	22人

地域サロン推進事業

介護予防に関する人材・地域活動組織(ボランティアやネットワーク)の育成・支援のため、住民主体によるサロンの立ち上げを支援した。

地域サロン推進事業業務委託

契約相手方：(福)志摩市社会福祉協議会 150,000円

延べ168人参加

地区	実施日	内 容	参加人数
坂崎	12月10日	介護予防運動・茶話会	14人
	1月10日	介護予防運動・レクリエーション・茶話会	14人
	2月10日	介護予防運動・レクリエーション・茶話会	12人
	3月10日	介護予防運動・レクリエーション・茶話会	13人
川辺	3月3日	茶話会・コーラス、演奏、踊り、劇等・レクリエーション	22人
下之郷	11月19日	レクリエーション・茶話会	29人
	12月21日	レクリエーション・ホットケーキ作り	26人
	1月23日	レクリエーション・茶話会	17人
	2月20日	手品・茶話会	21人

包括的支援事業・任意事業費

1) 介護予防ケアマネジメント事業費

地域包括支援センター各種研修旅費 30,380円

社会福祉協議会職員派遣負担金(1人分) 5,541,175円

地域包括支援センターに配置が必要な主任介護支援専門員について、(福)志摩市社会福祉協議会から派遣を受け、ケアマネジメント業務の体制強化を図った。

施策の成果及び執行実績

2) 総合相談事業費

各種ネットワーク会議等の開催状況

- ・ ふくし総合支援室運営協議会（2回開催）

困難事例等アドバイザー委託契約

多問題や困難事例に対しアドバイザーからより専門的なアドバイスを得ることにより、問題の早期解決、自立をめざした生活への支援に繋げるため、弁護士及び精神科医とのアドバイザー委託契約を行った。

また、精神科医によるケアマネジメント研修、困難事例検討会を実施し24人が参加した。

契約相手方：弁護士 村瀬 勝彦

日本福祉大学研究フェロー 野中 猛

委託料：441,000円

総合相談支援の受付状況

- ・ 地域別相談件数（単位：件）

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	市外他	計
平日	100	194	204	697	374	54	1,623
平日夜間	1	1	3	15	3	1	24
休日	3	1	0	6	2	3	15
休日夜間	1	0	0	0	0	0	1
計	105	196	207	718	379	58	1,663

- ・ 相談方法別相談件数（単位：件）

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	市外他	計
電話	57	94	136	378	150	43	858
来所	38	90	58	291	217	15	709
訪問	5	4	7	18	2	0	36
その他	5	8	6	31	10	0	60
計	105	196	207	718	379	58	1,663

- ・ 相談者別相談件数（単位：件）

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	市外他	計
高齢者	72	83	104	398	124	19	800
成人	21	87	60	224	232	34	658
子ども	11	23	39	89	11	1	174
その他	1	3	4	7	12	4	31
計	105	196	207	718	379	58	1,663

施策の成果及び執行実績

・ 相談経路別相談件数（単位：件）

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	市外他	計
本人	24	93	68	240	242	25	692
家族	25	31	39	125	55	13	288
関係機関	33	25	40	139	27	8	272
医療機関	5	10	13	27	17	2	74
市役所内	8	18	17	49	16	3	111
親族	5	10	11	32	9	4	71
民生委員	3	4	1	53	1	0	62
その他	2	5	18	53	12	3	93
計	105	196	207	718	379	58	1,663

・ 相談内容別相談件数（単位：件）

	浜島	大王	志摩	阿児	磯部	市外他	計
生活・家族に関すること	19	32	54	219	56	11	391
介護保険に関すること	20	18	19	68	28	3	156
介護予防に関すること	0	3	0	3	1	0	7
新予防給付ケアマネジメント	0	0	0	9	5	0	14
医療に関すること	8	5	5	51	23	5	97
経済的問題に関すること	9	18	7	19	7	1	61
施設利用に関すること	9	5	6	43	4	2	69
虐待に関すること	7	8	3	22	12	0	52
児童に関すること	11	16	34	76	8	0	145
福祉サービスに関すること	5	12	4	11	11	1	44
権利擁護に関すること	2	2	5	12	6	0	27
女性問題に関すること	2	3	11	16	9	5	46
DVに関すること	1	7	6	9	11	4	38
保健(健康)に関すること	3	2	4	3	1	0	13
母子・寡婦・父子に関すること	3	48	24	115	47	17	254
その他	6	17	25	42	150	9	249
計	105	196	207	718	379	58	1,663

3) 権利擁護事業費

各種ネットワーク会議等の開催状況

- ・ 高齢者等虐待防止ネットワーク会議（1回開催）
- ・ 権利擁護専門委員会（3回開催）
- ・ 養介護施設従事者による虐待防止研修会（2月18日）

講師：（福）富田浜福祉社会理事長 鈴木 廣子氏 参加者：110人

施策の成果及び執行実績

高齢者等の虐待通報・相談等の状況

- ・ 全体件数 33件、うち虐待認定15件
- ・ 被虐待者の状況
 - 性別：男2人、女13人 平均年齢80.9歳
 - 虐待種別：身体的虐待8件、ネグレクト6件、心理的虐待4件、経済的虐待3件
 - 身体的状況：認知症10人、寝たきり6人 重複あり
- ・ 公的サービスの利用開始（追加利用）、施設入所、成年後見人申立ての利用支援等の対応を行った。

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費

ケアマネジャー研修会

- ・ 7月12日 講師：いのうえ心身クリニック理事長 井上 桂氏 参加者：37人
- ・ 2月16日 講師：社会福祉法人聖隷福祉事業団
地域活動支援センター ナルド 上原 久氏 参加者：26人

5) 任意事業費

家族介護支援事業（介護用品支給事業）

- ・ 要介護高齢者を介護する市民税非課税世帯に、在宅生活の継続・向上を目的に月額5,000円の介護用品利用券を支給。民生委員等の協力により利用者宅に届けた。

配布枚数 993枚、事業費 4,846,365円

地域自立生活支援事業（配食サービス事業）

- ・ 市民税非課税世帯の高齢者等に対し週3回の配食サービスの実施により、自立生活の支援と安否確認を行った。

利用人数 782人、7,901食

事業費 1,975,250円

介護給付費等費用適正化事業（給付費通知作成業務委託事業）

- ・ 年4回、対象者約2,400人に対して、3か月分の給付費通知を受給者に郵送した。

また、三重県国民健康保険団体連合会に委託し、縦覧点検、医療情報との突合点検を行い、介護給付の適正化を図った。

事業費 2,055,392円

家族介護教室

介護者等が介護に関する知識や技術を習得し、介護者相互が交流する機会を持つことで在宅介護を支援するとともに、身体的・精神的な負担を軽減するための事業を実施した。

家族介護教室事業業務委託

契約相手方：（福）志摩市社会福祉協議会 500,000円

施策の成果及び執行実績

	テーマ	実施日・参加人数				
		志摩	大王	浜島	阿児	磯部
1	高齢者にやさしい介護食を作ろう	9月25日	9月18日	9月20日	9月19日	9月24日
		13人	18人	14人	14人	13人
2	間食で介護の潤いを	10月25日	10月16日	10月31日	10月18日	10月29日
		12人	13人	21人	16人	14人
3	介護シンポジウム	11月22日				
		11人	14人	11人	10人	7人
4	男性介護者の集い	11月29日		12月7日		11月29日
		7人	9人	2人	1人	2人
5	日々の介護を振り返ろう	12月14日				
		11人	11人	18人	14人	7人
6	介護用品を知ろう！！	1月17日	1月17日	1月18日	1月18日	1月11日
		10人	13人	15人	16人	11人
7	施設見学といちご狩り	2月28日	2月19日	2月20日	2月20日	2月25日
		20人	12人	26人	10人	10人

高齢者あんしん見守りネットワーク事業

- ・ あんしん見守り協力員（3月末現在の登録者数788人）
- ・ あんしん見守り協力員研修会・認知症研修会（121人参加）
- ・ 認知症サポーター養成講座（全12回開催）
延べ参加人数224人、うちキッズサポーター6回122人
- ・ 徘徊探知機の給付（0件）

成年後見制度利用支援事業

- ・ 成年後見制度研修会・相談会（研修会39人参加、相談会1件）
講師：弁護士 村瀬 勝彦氏
- ・ 成年後見制度市長申立て（3件）
- ・ 成年後見制度利用支援事業（1件）

離島介護サービス提供促進事業助成金

- ・ 離島(渡鹿野・間崎)における介護サービスの提供の促進を図るため、当該介護サービスの提供を行う者に対し、サービス提供の際に要した船賃を助成した。

事業費 313,740円

(5) 基金積立金

介護給付費準備基金積立金 113,163,000円
中期財政運営期間中の第1号被保険料及び一括交付された財政安定化基金交付金の余剰金を積み立てた。

平成24年度末現在高 113,163,000円

施策の成果及び執行実績

(6) 公債費

財政安定化基金償還金 27,334,000円

第4期事業計画期間に県の財政安定化基金から貸付けを受けた82,000,000円を平成24年度から平成26年度までの間(第5期事業計画期間)で償還する。

平成24年度末残高 54,666,000円